

姫路海上保安部
令和6年1月12日
午後2時00分発表

令和5年の姫路海上保安部管内における海難発生状況 (速報値)

～船舶事故及び人身事故ともに前年より減少～

姫路海上保安部管内^{※1}における令和5年（1月1日～12月31日）の海難発生状況は以下のとおりです。

- ・ 船舶事故：25隻（前年比5隻減少）
死者・行方不明者数：0人（前年比±0人）
- ・ 人身事故^{※2}：22人（前年比5人減少）
死者・行方不明者数：4人（前年比－6人）

※1 姫路市、加古川市、高砂市、赤穂市、相生市、たつの市、明石市の一部沿岸海域及び同沖合海域

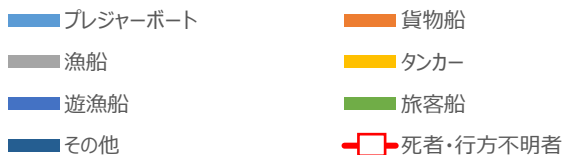
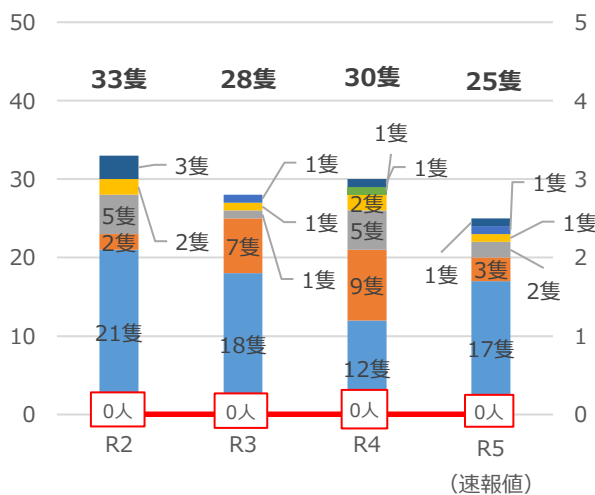
※2 人身事故は自殺者を除いた人数

船舶事故及び人身事故発生状況の詳細は、次ページ以降をご確認ください。

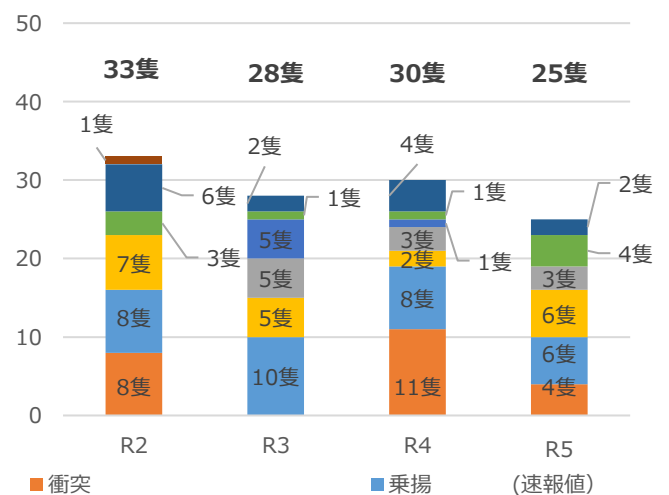
令和5年の船舶事故発生状況

- 令和5年の船舶事故発生数は25隻であり、過去3年間と比較し最も少ない発生数でした。
- 船種別では、プレジャーボートの事故が最も多く17隻（約7割）であり、前年比5隻増加しました。
- 事故種類別では、乗揚及び運航不能（機関故障）が最も多くそれぞれ6隻でしたが、乗揚は前年比2隻減少、運航不能（機関故障）は前年比4隻増加しました。また、衝突は4隻で前年比7隻減少しました。
- 船舶事故に伴う死者・行方不明者の発生はなく、過去4年間発生していません。

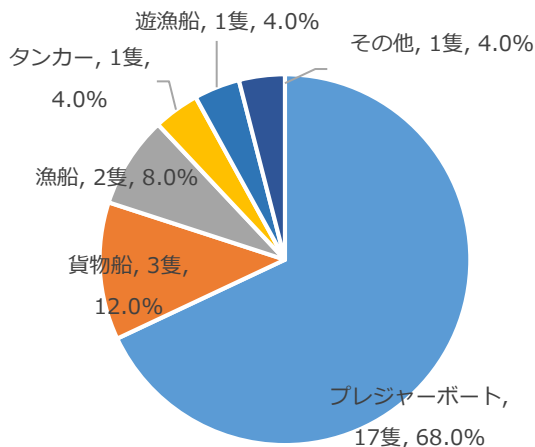
船舶事故発生状況（船種別）



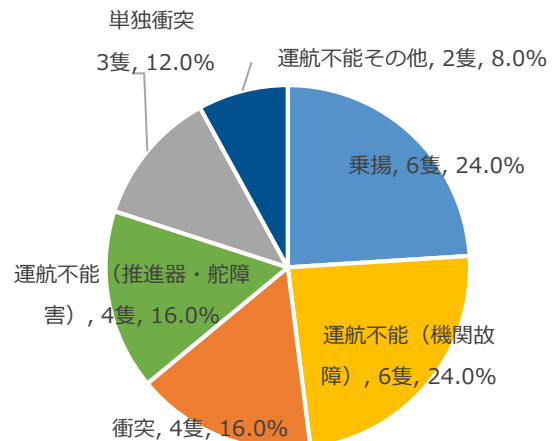
船舶事故発生状況（事故種類別）



令和5年の船舶事故（船種別）



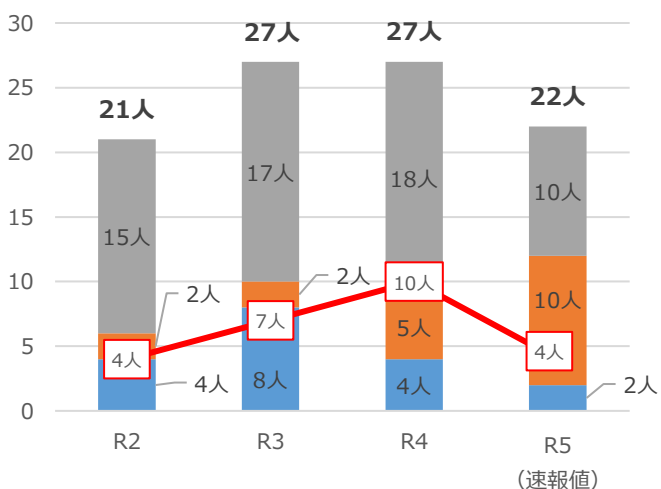
令和5年の船舶事故（事故種類別）



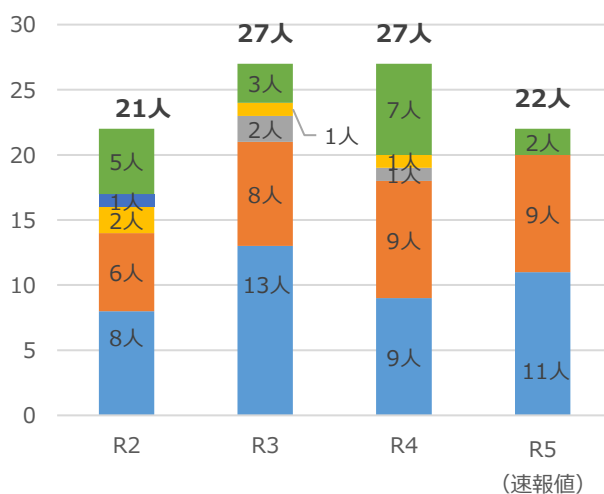
令和5年の人身事故発生状況

- 令和5年の人身事故発生数は22人でした。
- 事故内容別では、マリレジャー以外の海浜事故及び船舶事故以外の乗船中の事故が最も多くそれぞれ10人でしたが、船舶事故以外の乗船中の事故は前年比8人減少しました。
- 事故内容別では、負傷が最も多く11人となり、次いで海中転落9人でした。
- 死者・行方不明者は4人で前年比6人減少しました。

人身事故発生状況



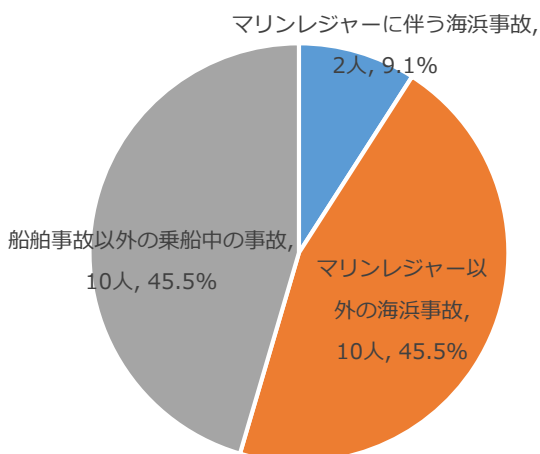
人身事故発生状況（事故内容別）



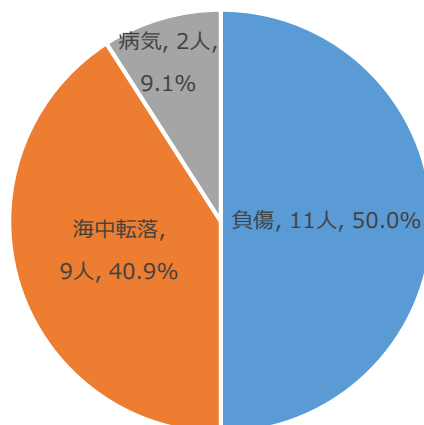
船舶事故以外の乗船中の事故
 マリレジャー以外の海浜事故
 マリレジャーに伴う海浜事故
 死者・行方不明者

負傷
 海中転落
 溺水
 帰還不能
 病気

令和5年の人身事故発生状況



令和5年の人身事故（事故内容別）



※「マリレジャーに伴う海浜事故」とは、海水浴、釣り、サーフィン、スクーバダイビング、ウェイクボード等の海洋における余暇活動に伴って発生した事故をいいます。
 ※「マリレジャー以外の海浜事故」とは、マリレジャー等の余暇活動に伴うもの以外の海浜において発生した事故をいいます。
 ※「船舶事故以外の乗船中の事故」とは、衝突、乗揚等の船舶事故以外の事由により発生した船舶乗船者の海中転落、負傷、病気等をいいます。